学校だより

５月号

～ひとがすき　まちがすき　いわさきの子～

横浜市立岩崎小学校　　電 話 ３３１－５１２３　　ＦＡＸ ３３１－５３４３

あいさつは心と心をつなぐ魔法の言葉

校長　吉田　りえ

予想外に長く咲いていた桜もピンクの花びらが散り、新緑の季節となりました。春を飛び越して夏が近づいていることを感じさせるような日もあれば、驚くほど気温が下がる日もありましたが、岩崎の子は元気に登校しています。

平成 31 年度として始まりましたが、5 月からは「令和元年度」となり、新たな時代の幕開けです。岩崎小の新しい時代もスタートしてまもなく一ヶ月。子どもたちの教室での様子にも落ち着きが見られるようになってきました。

「おはようございます。」朝、子どもたちから元気なあいさつが聞こえてきます。何気ない「いつものこと」ですが、全員ができるわけではありません。どの子もあいさつを交わすと気持ちがよいことは知っています。でも、ちょっと照れくさかったり、面倒だったり、相手があいさつをしてくれるのか不安だったりして、自分からはできないこともあります。

〇あいさつは「相手との最初のコミュニケーション」ということです。
〇あいさつをするということは「相手を大切にしている」ということです。
〇あいさつをすると「自分の様子(元気だよ)」を伝えることができます。
〇あいさつをされると「相手の様子（元気なんだね）」を自分が感じることができます。
〇お互いにあいさつをすると自分も相手も嬉しくなり、優しい気持ちになります。
〇お互いにあいさつをすると、仲良しの仲間になることができます。

あいさつは社会においてコミュニケーションの第一歩です。あいさつが苦手な子には「自分からできるようになるといいね」という思いを込めて大人の方から積極的に声をかけるようにしています。子どもたちは自分にあいさつをされることで「自分を見てくれている、自分を大事に思ってくれている」と感じてくれるのではないかと思うからです。子どもたちの心に安心感や自信をもたせることにもつながり、きっと自分からあいさつができる子になっていくと思うのです。

そして、自分の大切さとともに他人の大切さを認めることができるような感覚が育っていくのではないでしょうか。「あいさつ」は心と心をつなぐ魔法の言葉です。

5 月は 25 日(土)に土曜授業参観・PTA 総会・学校説明会を予定しております。多くの保護者の皆様や地域の皆様に参観していただければ幸いです。５月も本校の教育活動にご理解とご協力をお願いいたします。